

「受験生」・「卒業生」としての再スタート！

前期は「最上級生」としての活躍をしてくれたみなさんに、後期は「受験生」・「卒業生」としてのがんばりを期待します。1年のスタートにあたり、4月の学年集会で話したことを再度お伝えします。

「受験生」とは、ただ勉強を一生懸命やるということではないと思います。自分で自分の未来をどう思い描くのか？このことがとても大切だと思います。高校進学だけでなく、「なりたい自分」に向けて一生懸命に努力していきましょう。将来、実際に働くときのための力を身に付けましょう。

最後に、「卒業生」として卒業式の際に奏星学年のみなさんの胸にはどのような思いが巡るのか？西仙北中学校の歴史に何を刻むのか？それは卒業までの残りの期間にかかっています。

「受験生」として、「卒業生」として、「なりたい自分」に向けて、がんばりましょう！

「後期の目標」

3年A組 田村

前期を振り返ると、前期は3年生となり、委員会や部活動など様々な活動で重要な役割を任せられる人が多くなりました。私も部活動でトランペットのリーダーとして後輩に教えることが多くなったので、責任感も強くなりました。また、前期の中で私が特に印象に残っているのが修学旅行です。残念ながら県内となってしまいましたが、みんなが全力で楽しむことができ、たくさんの思い出ができました。そして、県内の旅行だったからこそ自分の住んでいる秋田県のよさや、西仙北と男鹿・鹿角との違いを知ることができました。

後期がスタートするにあたって、私は次の3つの目標を立てました。

1つ目は部活動です。吹奏楽部で今のメンバーで活動できるのも残りわずかとなりました。最後の発表の場となる定期演奏発表会でいい演奏をして、聞いている人に笑顔になってもらえるように、残された練習期間を精一杯がんばります。

2つ目は受験生として勉強を頑張ることです。3年生になり課題の量が増えたり、定期テストの他に実力テストがあったりして、受験生だと改めて実感しました。だから3月の入試に向けて、今習っていることはもちろん、1、2年の教科書やノートを見直し、ワークやテキストの反復練習を頑張りたいです。さらに、間違えた問題や苦手な問題をそのままにせず、何回も解いたり聞いたりして本番に備えたいです。後期はテストがたくさんあるので、効率よく勉強を進めるために自分に合った勉強法で取り組みます。休日は、いつもゆっくりしている時間を勉強する時間にします。そして、受験生として来年無事に高校に入学できるよう頑張ります。

最後の目標は、卒業生として悔いのない半年を送ることです。いつもしていることを改めて見つめ、直し、身だしなみや挨拶、授業中の発表などに気をつけて生活したいです。また、残された学校行事を一生懸命に取り組んだり、授業や学級での活動など、みんなで協力し合ったりしながら、充実した毎日を送れるようにしたいです。そして、卒業するときみんな笑顔で卒業できたらうれしいです。

☆合唱コンクールに向けて練習がんばっています！

◎学年課題曲 「流浪の民」

○A組 自由曲「ヒカリ」

- ・指揮者 高橋
- ・伴奏者 和田 (課題曲)
- ・伴奏者 伊藤 (自由曲)

○B組 自由曲「君の隣にいたいから」

- ・指揮者 三浦
- ・伴奏者 伊藤 (自由・課題曲)

21日(木)、校内合唱コンクールを「和ピア」で行います。先週から、毎日朝と帰りの練習に励んでいます。来場を希望される方は、7日に配付した参加希望を提出してください。よろしくお願いいたします。



前期終業式より



後期始業式より



合唱練習より